



2009年3月期 第2四半期決算説明会

# 2009年3月期 第2四半期決算概要

2008年11月7日

日本ユニシス株式会社  
代表取締役専務執行役員

**白鳥惠治**

# 連結決算

【第2四半期累計】

(百万円)

	2008年3月期 第2四半期累計		2009年3月期 第2四半期累計		前年同期比	
	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	増減額	増減率
売上高	152,359		146,890		5,468	3.6%
売上総利益	36,685	24.1%	36,360	24.8%	325	0.9%
販管費	33,634	22.1%	32,242	21.9%	1,392	4.1%
営業利益	3,051	2.0%	4,117	2.8%	+1,066	+35.0%
経常利益	3,102	2.0%	3,844	2.6%	+741	+23.9%
四半期純利益	4,362	2.9%	1,668	1.1%	+6,031	-

- 売上高は減収( 3.6%)となるも、採算性向上により営業利益は増益(+ 35.0%)
- 前年同期に「のれんの償却」を計上したため四半期純利益は大幅増益(+60億円)

# 売上区分別の状況

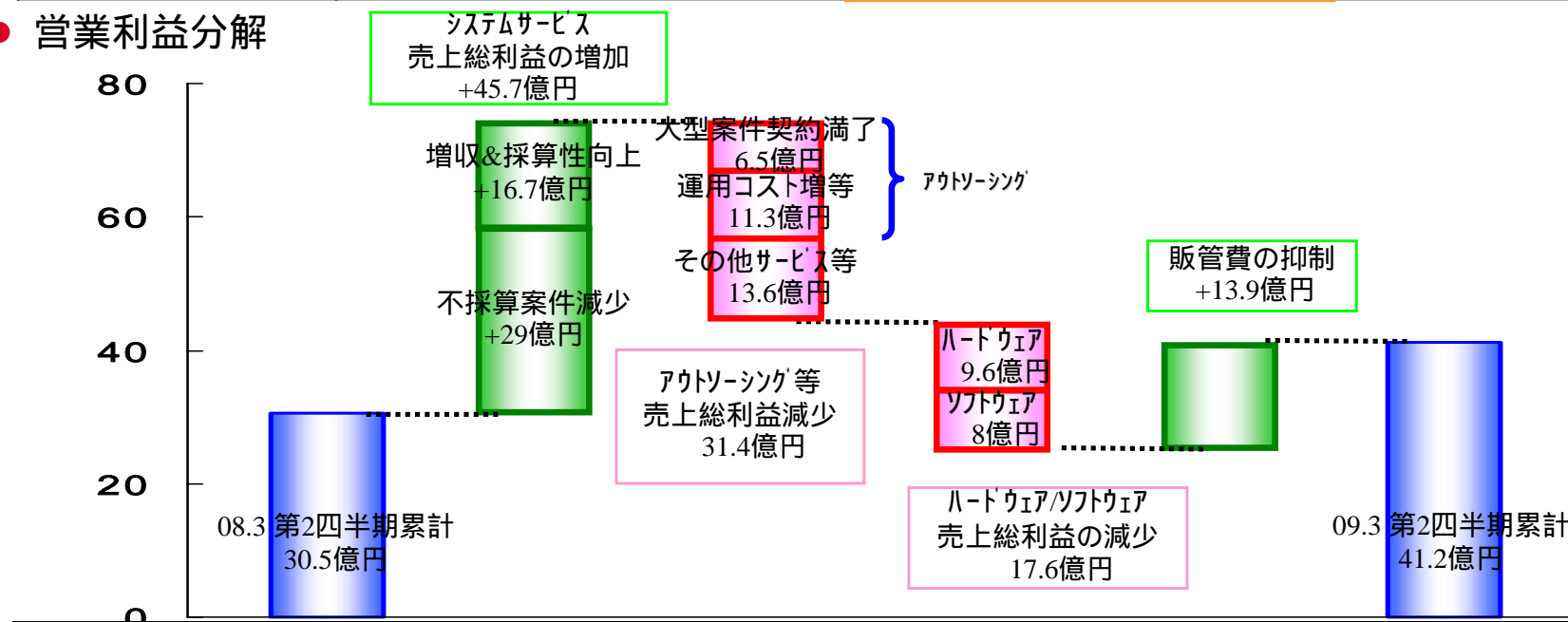
【第2四半期累計】

● 売上区分別 売上/売上総利益

(百万円)

売上区分	2008年3月期 第2四半期累計			2009年3月期 第2四半期累計			増減		
	売上高	売上総利益	利益率	売上高	売上総利益	利益率	売上高	売上総利益	利益率
サービス	109,120	23,466	21.5%	110,430	24,901	22.5%	+1,310	+1,435	+1.0%
ソフトウェア	16,961	5,943	35.0%	15,187	5,139	33.8%	1,773	804	1.2%
ハードウェア	26,278	7,275	27.7%	21,272	6,319	29.7%	5,005	956	+2.0%
合計	152,359	36,685	24.1%	146,890	36,360	24.8%	5,468	325	+0.7%
販管費		33,634			32,242			1,392	
営業利益		3,051			4,117			+1,066	

● 営業利益分解



# キャッシュ・フローおよびバランスシートの状況 【第2四半期累計】

## ● キャッシュ・フロー (百万円)

	2008年3月期 第2四半期累計	2009年3月期 第2四半期累計	増減額
営業 C F	3,917	19,380	+15,463
投資 C F	17,889	8,005	+9,883
F C F	13,971	11,375	+25,346

## ● バランスシート (百万円)

	2008年3月期 第2四半期末	2009年3月期 第2四半期末	増減額
総資産	254,388	239,622	14,766
負債	173,191	153,276	19,914
純資産	81,197	86,345	+5,148

有利子負債	105,042	92,442	12,600
(純有利子負債)	(81,140)	(67,550)	13,589

純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び預金

- 営業CFの改善、アウトソーシング投資の一巡により、FCFは大幅に改善(+253億円)
- FCF改善により、有利子負債を圧縮( 126億円)

# 2009年3月期業績見通し

【通期見通し】

●業績見通し

(百万円)

	2008年3月期		2009年3月期 見通し		前期比	
	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	増減額	増減率
売上高	337,759		345,000		+7,240	+2.1%
売上総利益	86,031	25.5%	88,000	25.5%	+1,968	+2.3%
販管費	66,382	19.7%	66,000	19.1%	382	0.6%
営業利益	19,649	5.8%	22,000	6.4%	+2,350	+12.0%
経常利益	19,265	5.7%	21,000	6.1%	+1,734	+9.0%
当期純利益	2,546	0.8%	11,000	3.2%	+8,453	+332.1%

●キャッシュ・フローおよび有利子負債の見通し

(百万円)

	2008年3月期	2009年3月期 見通し	増減額
営業 C F	18,591	35,677	+17,086
投資 C F	29,103	21,500	+7,603
F C F	10,511	14,177	+24,688
有利子負債 (純有利子負債)	99,400 (77,786)	87,428 (65,497)	11,972 ( 12,289)

# 2009年3月期売上区分別見通し

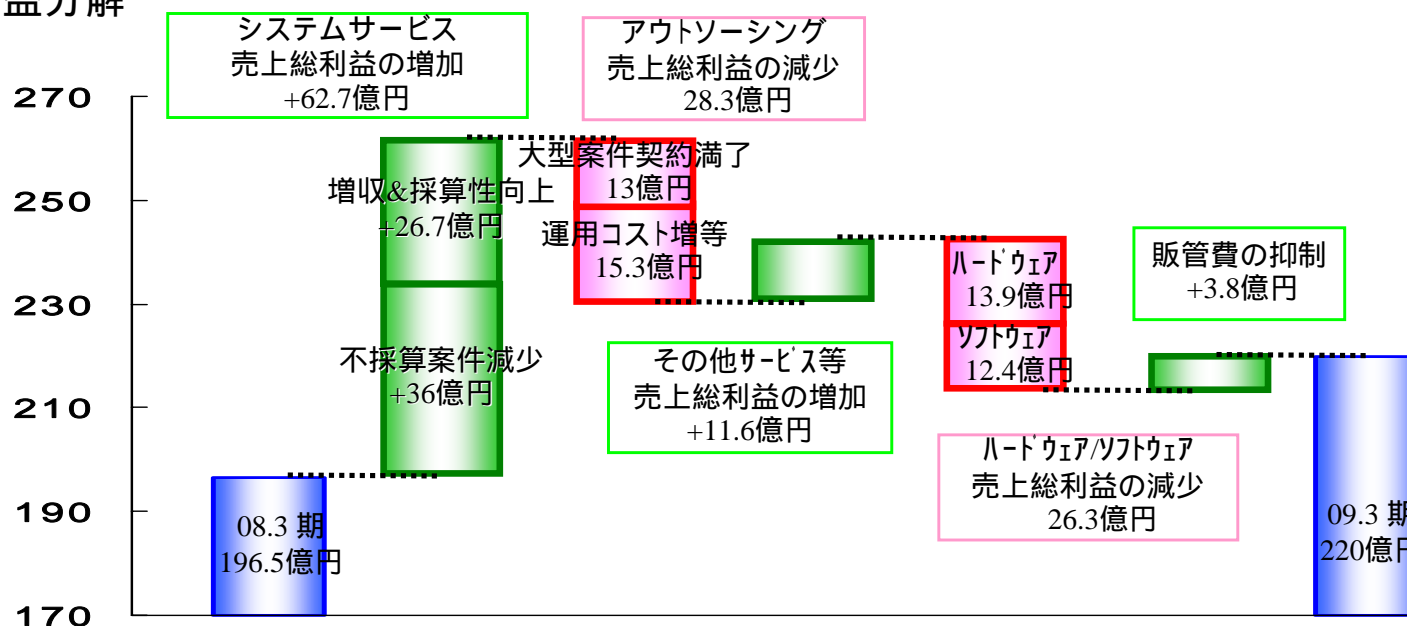
【通期見通し】

● 売上区分別 売上/売上総利益見通し

(百万円)

売上区分	2008年3月期			2009年3月期見通し			増減		
	売上	売上総利益	利益率	売上	売上総利益	利益率	売上	売上総利益	利益率
サービス	244,785	56,897	23.2%	258,700	61,500	23.8%	+13,914	+4,602	+0.5%
ソフトウェア	39,219	14,244	36.3%	38,600	13,000	33.7%	619	1,244	2.6%
ハードウェア	53,754	14,889	27.7%	47,700	13,500	28.3%	6,054	1,389	+0.6%
合計	337,759	86,031	25.5%	345,000	88,000	25.5%	+7,240	+1,968	+0.0%
販管費		66,382			66,000			382	
営業利益		19,649			22,000			+2,350	

● 営業利益分解





2009年3月期 第2四半期決算説明会

## 成長計画2008-2009の上期進捗

2008年11月7日

日本ユニシス株式会社

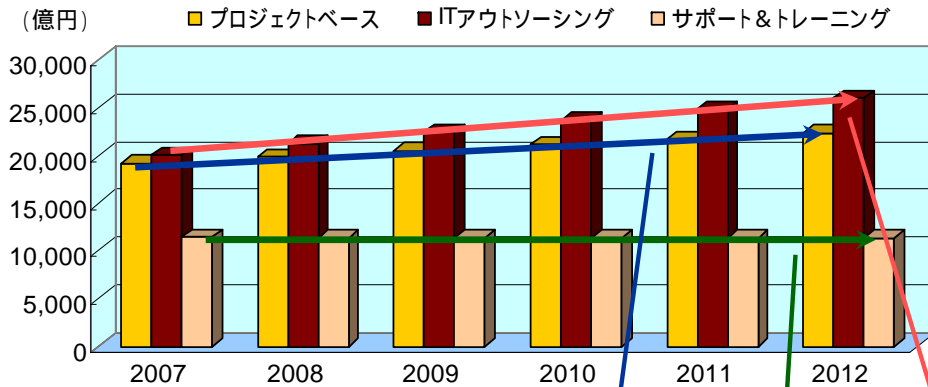
代表取締役社長

**梶井勝人**

# ITサービス市場環境

景況悪化による投資意欲の冷え込みから、国内ITサービス市場の成長鈍化が懸念される

【図1】 国内ITサービス市場 投資額予測 (2007年～2012年、9月調査)



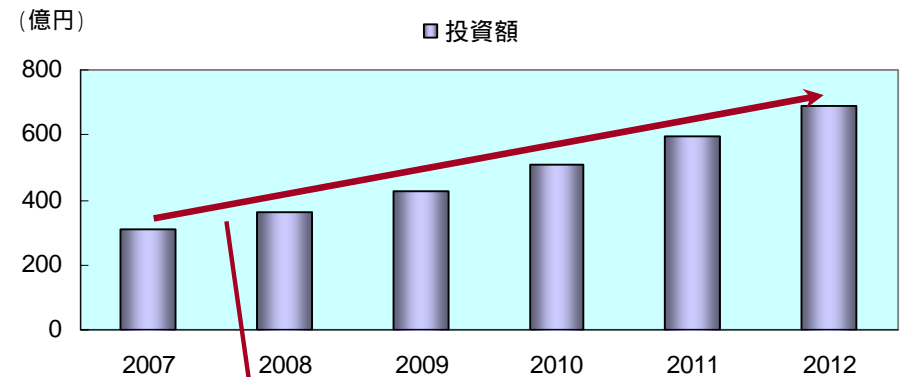
出典： IDC Japan, 2008年10月「国内ITサービス市場 産業分野別2007年の実績と2008年～2012年の予測アップデート：2008年上半期」(J8460107)

システムサービス  
予想成長率 (CAGR) = + 3.1%

サポートサービス  
予想成長率 (CAGR) = 0.1%

採算性の向上・筋肉質に

【図2】 国内SaaS市場 投資額予測 (2007年～2012年、9月調査)



出典： IDC Japan, 2008年9月「国内SaaS市場2007年の分析と2008年～2012年の予測アップデート」(J8380106)

SaaS  
予想成長率 (CAGR) = + 17.3%

ITアウトソーシング  
予想成長率 (CAGR) = + 5.3%

成長への取り組み

「企業体質のさらなる強化」

「ICTサービス事業の強化」

成長計画2008-2009の重点施策

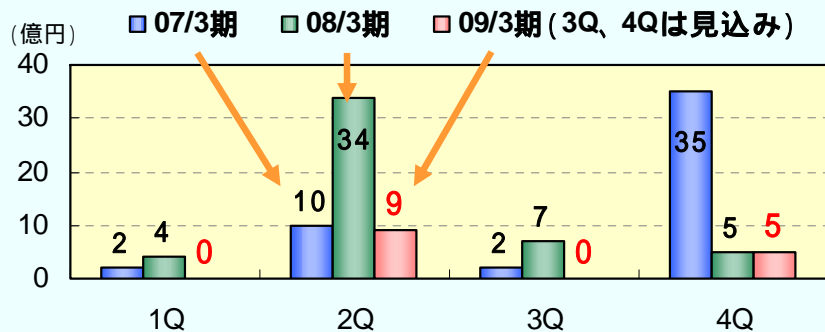
(補足) IDC区分による「プロジェクトベース」、「サポート&トレーニング」は当社売上区分の「システムサービス」、「サポートサービス」にそれぞれ該当します。



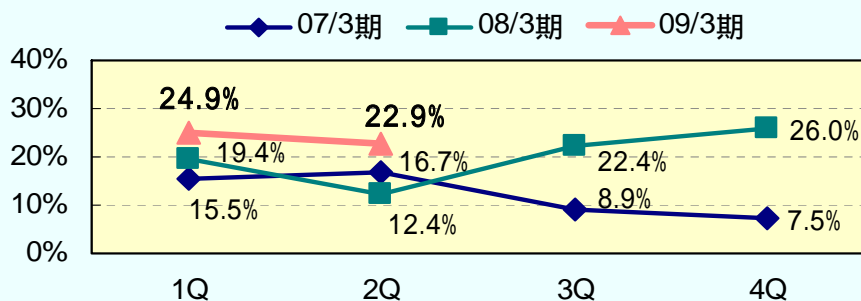
## サービス採算性の向上

- 品質管理体制・プロセスの強化  
サービス品質の向上  
不採算案件撲滅
- 内工稼働率の向上  
外注発注額の最適化

【図3】不採算発生金額



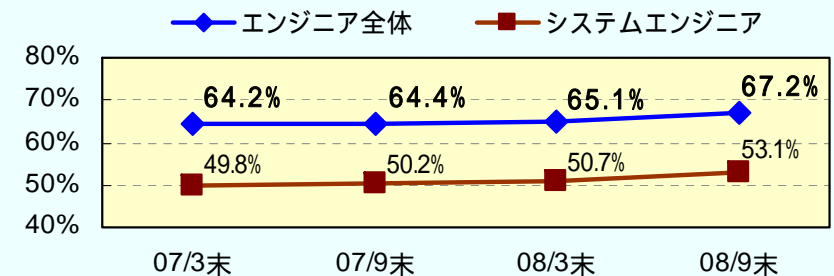
【図4】システムサービスの売上総利益率



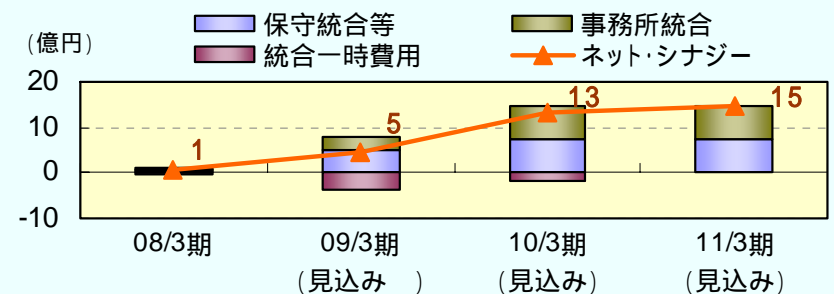
## コスト構造の最適化

- 業務プロセス・要員配置の最適化  
業務効率の向上  
直接業務への人員シフト
- 統合効果の実現  
ネットマークス・コストシナジー

【図5】エンジニア人員比率(全社員に占めるエンジニア数の割合)



【図6】ネットマークス・コストシナジー



09/3上期 ネット・シナジーは0.4億円(保守統合等+2.4 事務所統合+0.4 統合一時費用 2.4)

## ICTサービスの全体像

### アウトソーシング

#### 既存サービス

- 既存アウトソーシング
- S-BITS (地銀アウトソーシング)

#### 新サービス

- ICTハウジング 2008/10/1
- ICTホスティング 2008/10/16

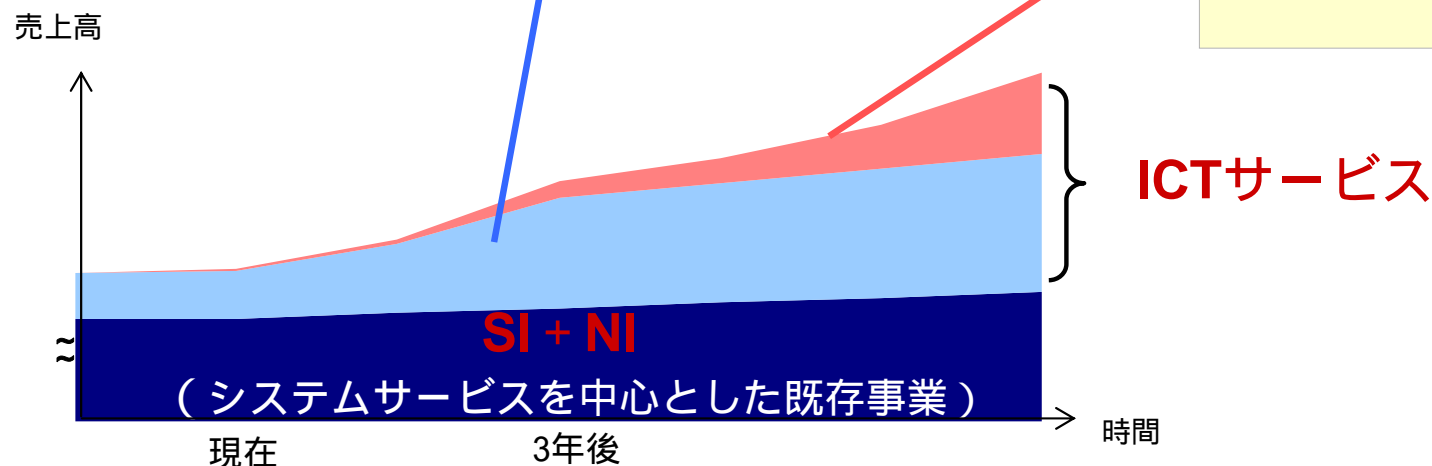
### 利用型サービス

#### SaaS等

- 教育分野「RENANDI®」 2008/4/1
  - 物流分野「UNITRA™」 2008/7/30
  - 住宅分野「AirTriQ®」ASP 2008/8/1
  - 「SASTIK®サービス」 2008/9/1
  - 「SparkMail™」 2008/2/1
  - 「PowerWorkPlace™」 2008/7/16
  - グローバルメール (予定)
  - 
  - 
  -
- 今後も次々と新メニューを追加予定

日付はサービス開始日

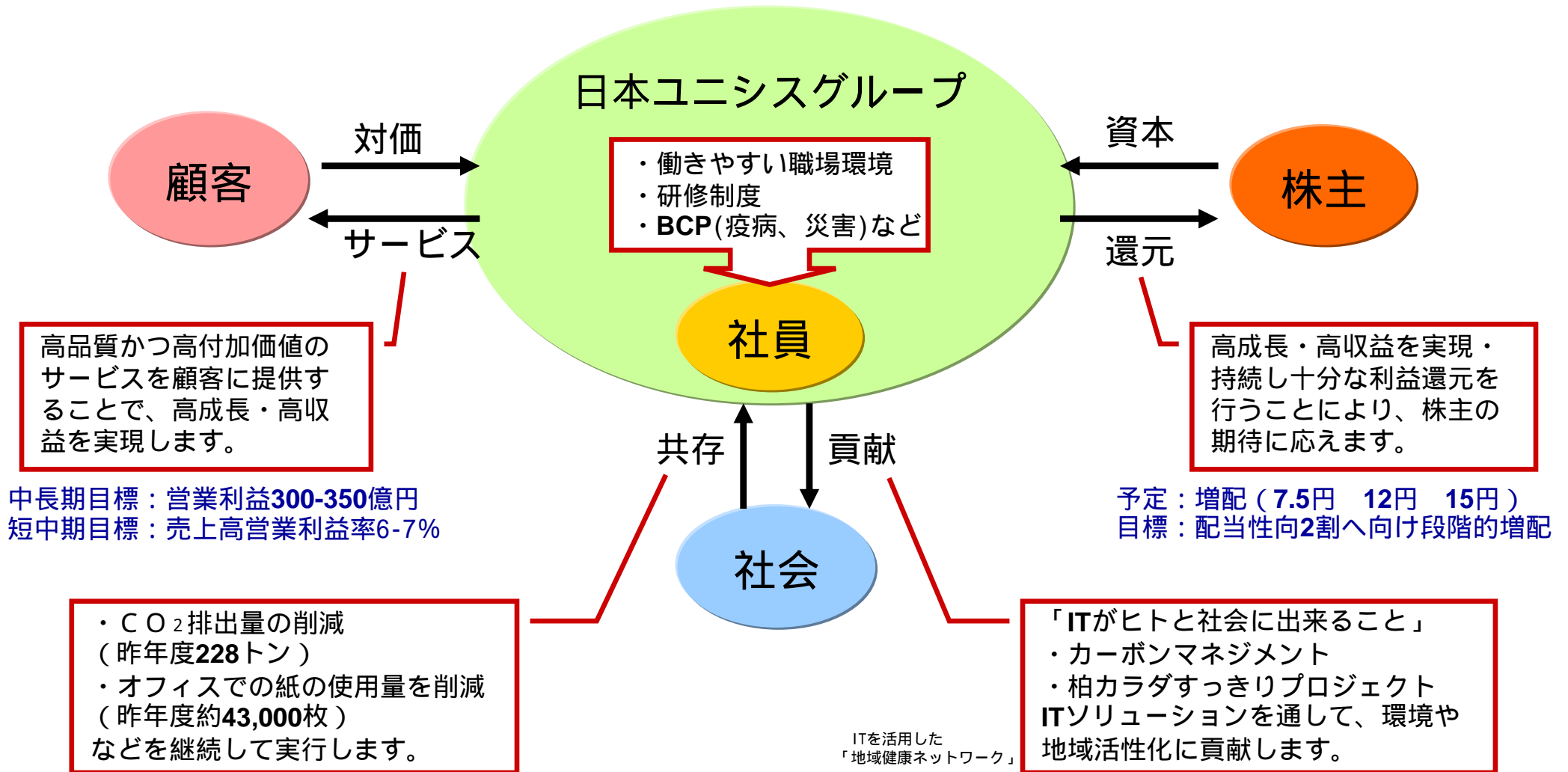
【図7】 売上高構成推移イメージ図



# 一流の企業を目指して

すべてのステークホルダーにとって魅力的な会社

『一流の企業』(お客様に、社会に、そして株主に高い価値を提供する企業)となるために社員のひとりひとりが『一流の企業人』に向け、自ら成長し続ける会社を目指します



# U & U

Users & Unisys

# UNISYS

(注) 本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。  
また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。